

# 世界に響け

## 「東北のウィーン がくと こおりやま 楽都 郡山」



本市は、福島県の中央に位置し、北には高村光太郎の「智恵子抄」で有名な<sup>あだたらやま</sup>安達太良山を望み、東は<sup>あぶくま</sup>阿武隈山系につつまれ、また、西には全国第4位の大きさを誇り、その美しさから天鏡湖と称される猪苗代湖を有するなど豊かな自然に囲まれた都市です。

明治の初めには、国営事業第1号として行われた「国営<sup>あさか</sup>安積開拓」により、荒涼とした安積平野が、実りの大地となり、現在では、米の食味ランキングにおいて高い評価を受けている郡山産米「<sup>あさか</sup>あさか舞」の産地として、全国トップクラスの生産量を誇る米どころとなっています。

さらに、東北、磐越自動車道、東北新幹線といった高速交通網や近隣には福島空港があり、国内外の都市との交流環境が整っていることから、人、モノ、情報が行き交う交流のまちとして「陸の港」とも呼ばれています。

また、震災復興を目指し市民の心の拠り所として始まった音楽活動は、市民の熱意により大きな広がりを見せ、「東北のウィーン」と称されるまでになりました。今では市内で数多くの演奏会が開催されるとともに、<sup>あさか れいめい</sup>安積黎明高等学校や郡山第二中学校をはじめ多くの学校、団体が全国大会で輝かしい成績を収めています。このため、本市においては、市民がこれまで胸に<sup>いざ</sup>抱き続けてきた音楽への誇りと愛情、その思いを未来に引き継いでいくため、平成20年3月に「音楽都市」を宣言しました。

この度策定いたしました「郡山市シティセールス基本方針」においては、「東北のウィーン <sup>がくと</sup> 楽都 郡山」を都市のイメージとして、市民、事業者、行政等による協力・連携のもと、本市の知名度や認知度の向上を目指すとともに、地域の活性化のため、さらには本市の飛躍のためにも、さまざまな魅力ある資源を全国に、そして世界に発信してまいります。

平成21年3月

郡山市長 原 正夫